

令和3年度における制度の推進について



1. 第4期対策の最終評価（農林水産省）について

①第4期対策を踏まえた今後の課題

今後農業生産活動を継続的に行っていく上で、
都道府県からあげられた主な課題

高齢化

人口減少

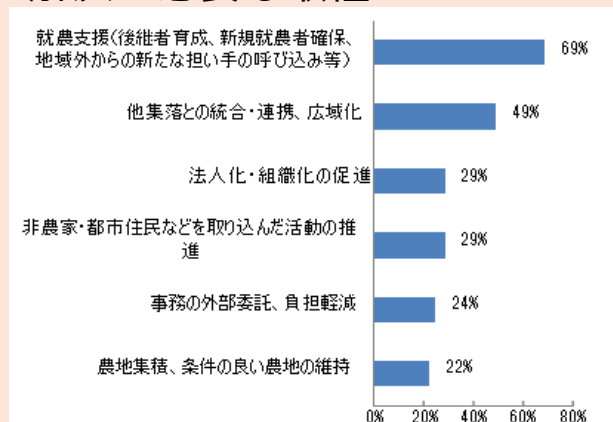
- i 担い手や集落活動のリーダーなどの人材の不足
- ii 農村協働力（集落機能）の低下
- iii 営農にあたって、農作業の省力化や農業収入の減少
- iv 本制度実施にあたって、事務負担や交付金返還措置への不安

（農林水産省 令和元年8月公表「中山間地域等直接支払制度（第4期対策）の最終評価」より）

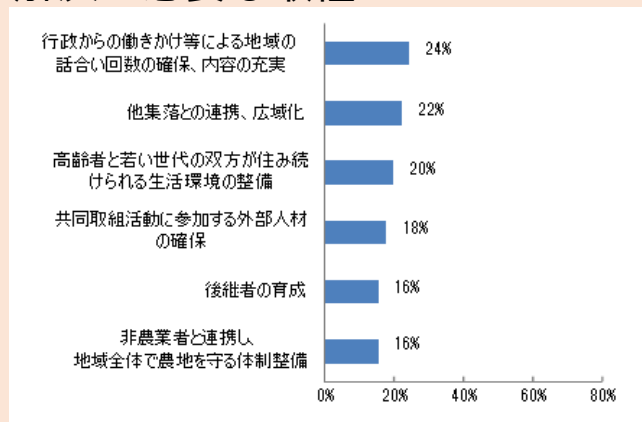
1. 第4期対策の最終評価（農林水産省）について

②課題解決に向けて必要な取組

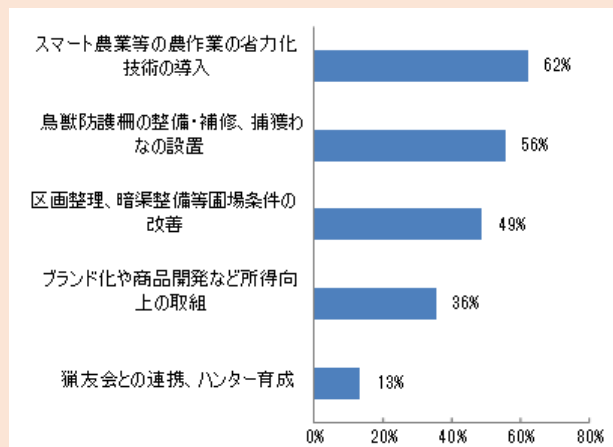
人員・人材に関する課題の解決に必要な取組



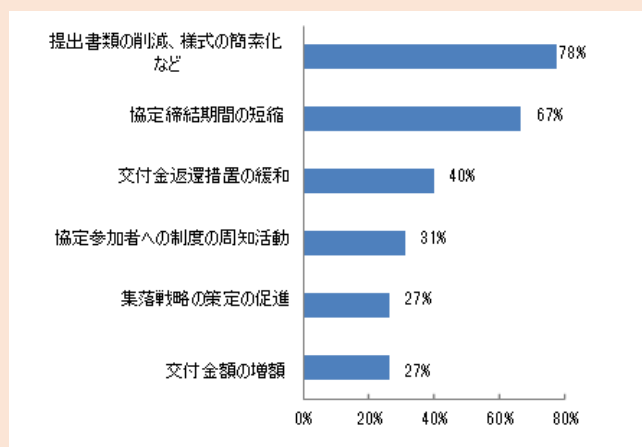
農村協働力（集落機能）に関する課題の解決に必要な取組



営農に関する課題の解決に必要な取組



本制度に関する課題の解決に必要な取組



1. 第4期対策の最終評価（農林水産省）について

③まとめ

本制度により、農用地の維持や耕作放棄の防止による多面的機能の維持・発揮が図られていることから、今後も同制度の継続的な実施が必要。一方、より効果的な取組の実施のためには、以下について検討が必要とされた。

- i 人口減少や高齢化による担い手不足を解消するため、集落戦略の策定等を通じて集落の将来像を明確化するとともに、後継者の育成や外部人材の確保、関係人口の増加などの取組を促進
- ii 農村協働力（集落機能）が弱体化しており、集落協定の広域化や地域づくり団体の設立等を通じて、集落機能を強化し、持続的・安定的な体制を構築
- iii 条件不利な中山間地域においては、農作業の省力化や農業収入の減少が課題となっており、農地の集積、スマート農業の導入、高付加価値型農業等の推進により、生産性や付加価値を向上する取組を促進
- iv 本制度の実施にあたっては、事務負担や交付金返還措置が不安につながっており、より取り組みやすい制度になるよう事務負担の軽減や交付金返還措置の見直し

（農林水産省 令和元年8月公表「中山間地域等直接支払制度（第4期対策）の最終評価」より）

1. 第4期対策の最終評価について

④本県の最終評価で挙げられた課題（参考）

※市町（12市町）、県の評価

i 人員、人材

- ・ 人数減少で相互補完体制の継続が困難
- ・ 条件不利地でもあり、農業経営の確立が困難
- ・ 現リーダーの高齢化、次世代との連携希薄

ii 営農

- ・ 特に、樹園地や広大な法面の管理が困難
- ・ 鳥獣被害の多発、人口減少

iii 農村協働力（集落機能）

- ・ 活動の理解不足もあり、参加者が減少
- ・ 「全員が揃わない」「事務連絡に終始」など、話し合いが形骸化

iv 制度について

- ・ 全額遡及返還の心理的負担が深刻
- ・ 中山間地域の実情（高齢化、条件不利地）を考慮すると、「5年間+全額遡及返還」は厳しい
- ・ （高齢化で）事務（パソコン操作、押印まとめ）が負担

2. 中山間地域等農村活性化に係る調査

中山間地域の発展に向けて、地域活性化が図れている地域の成功要因を調査し、他協定あて横展開を図ることを目的に、中山間地域等農村活性化に係る調査を実施した。

● 調査委託業者

(一社)持続可能な地域社会総合研究所 (島根県)

代表理事の藤山浩氏は、島根県中山間地域研究センター等で中山間地域の研究に携わった後、退職後に本研究所を設立し、全国の中山間地域で活性化の取組を支援してきた。

また、農水省の中山間直払第三者委員会の委員も務めた中山間地域の活性化に関する専門家。

● 委託内容

安定的な活動ができている集落協定を含む地域のうち、

- ① 広域連携に取り組んでいる
- ② 女性のポジションがある
- ③ 他産業との連携が図られている

の3つの条件を満たす地域を4地域選定し、成功要因を探索した。



2. 中山間地域等農村活性化に係る調査

■ 調査の対象地区 ■



上記4地域において、現地での聞き取り調査・見学を2回実施し、地元関係図の作成を通じて地域の特徴の把握を行った。

※地元関係図…地域にある団体や行政機関などの関係性を一枚紙に書き出して整理した、地域の仕組みを表す図。

2. 中山間地域等農村活性化に係る調査

● 多度津町白方地区

＜地域の特徴＞

オリーブ生産組合、(株) 蒼のダイヤが核となってオリーブの生産、加工・販売を行い、地域活性化につなげている。

女性の働く場や学校との交流の場が設けられており、情報発信の機能も果たしている。



(株) 蒼のダイヤ加工場



オリーブ畑

2. 中山間地域等農村活性化に係る調査

●三豊市財田地区

＜地域の特徴＞

「NPO法人まちづくり推進隊財田」が地域全体を分野横断的につなぎ、定住対策まで支援。毎月1回の「財田の農業を考える会」が継続的に開催されている。

(株) アンファームでは、I ターンの女性が就農し、マンゴー等を栽培しているほか、今春には移住者の女性と地域が協力し、古民家カフェが開設された。



移住促進を図る住宅



古民家を活用したカフェ

2. 中山間地域等農村活性化に係る調査

● 東かがわ市五名地区

<地域の特徴>

五名活性化協議会が各分野の横串をさし、地域全体で課題解決に取り組む。移住者を受け入れる姿勢ができており、毎年のように定住増加を実現している。

Iターン者も参加してカフェや産直を運営する「五名ふるさとの家」は地域の拠点となっているほか、宿泊施設や女性が元気に活躍する場がある。



五名ふるさとの家

農泊施設

2. 中山間地域等農村活性化に係る調査

●三木町小蓑地区

<地域の特徴>

120人程度の集落。山南宮農組合では9つの部会が組織されており、組合員は原則全員参加で、男女ともに各々の得意分野を活かして活躍できる場がある。

地元のジビエ料理を提供する農村レストラン、農泊施設、産直があり、カフェも開始する予定。



農村レストラン
「どんぐりころころ」



農泊施設
「昭和の宿こみの」



小蓑の斜面畑

2. 中山間地域等農村活性化に係る調査

■元氣な農村づくり10+1の条件■

1. 生態系 ～ 地域全体としての多角形のつながり
 2. 集い ～ みんなが集まり、話す場や機会
 3. 連結 ～ 地域全体をつなぐ組織や人材、拠点
 4. 連関 ～ 生産だけでなく、加工・販売も連動
 5. 女性 ～ 女性が活躍するポジションがある
 6. 後見人 ～ 移住者や若者を支えるベテラン住民
 7. 法人 ～ 機動的に動く会社・事業組織が存在
 8. 楽しみ ～ 暮らしを豊かにするアートやサークル
 9. 窓 ～ 閉鎖的でなく、外との交流の窓口がある
 10. 情報 ～ 地域内外への情報発信・共有のしくみ
- + 長期展望～10年続ける覚悟と循環型社会への転換

3. 課題に対する第5期対策における国の対応

- 後継者の育成や外部人材の確保、関係人口の増加などの取組を促進
- 集落機能を強化し、持続的・安定的な体制を構築
- 生産性や付加価値を向上する取組を促進

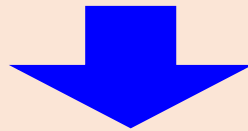
**→加算措置の拡充、新設
(集落機能強化加算、生産性向上加算等)**

- 事務負担の軽減や交付金返還措置の見直し

**→体制整備単価の要件を見直し(集落戦略の様式の簡略化)、
遡及返還の対象農用地の見直し**

4. 令和3年度の推進方策

- ◆ **新規協定の掘り起こし**
- ◆ **体制整備単価への誘導、加算措置の取組の推進**
- ◆ **協定締結面積の拡大**
- ◆ **集落活動の活性化、人材の確保支援**



○ **市町単位での説明会を活用した制度周知**

- ・ 遡及返還の緩和措置の周知等による負担感の軽減
- ・ 集落戦略の作成、加算措置への取組誘導

○ **活動の活性化、横展開**

- ・ 中山間地域活性化に向けた研修会の開催
- ・ R2年度に実施した現地調査を優良事例集としてまとめて横展開

○ **県単事業「中山間地域等人材緊急確保事業」の活用**

協定が行う農業後継者等の多様な人材確保につながる活動を支援

5. 協定の課題解決に向けて

令和元年度から継続

中山間地域等人材緊急確保事業の実施

～集落協定による人材確保取り組みに支援～

【対策】 農業後継者等の人材確保につなげる活動を支援

- 支援対象： 中山間地域等直接支払の集落協定
- 補助率： 県1/2以内
- 助成額： 150千円/対象・年（2年を上限）
- 対象とする経費の例：

- ・ 集落（の存続）をPRする取組（SNS活用等）
- ・ 人の呼び込みイベントの開催（オーナー園、学童農園設置等）
- ・ 移住者受入募集の取組（移住フェア等参加）
- ・ 移住者の受入体制の整備（候補者の準備支援、空き家の簡易修繕、農機具修繕等）
- ・ 企業、NPO法人等の誘致活動（地域を用いた福利厚生活動等）
- ・ 先進事例研究・調査費（大学教授、先進集落等の講師謝金等）
- ・ 外国人実習生の受入の調査（情報収集、お試しステイ等）



都市住民との
稲刈り体験



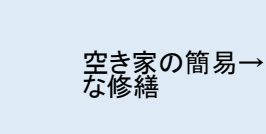
←都市部での
移住マッチング



先達者による
現地検討会



←有志による
果樹植栽



空き家の簡易
→な修繕

【予算額】 600千円

150千円/対象・年×4カ所

【効果】

○持続的な中山間地農業による「地域活性化、多面的機能維持」の好循環の発現

